

作成日: 2018年3月14日  
改訂日(V.2ABC): 2023年8月7日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 日農トップジンM水和剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名: 日本農薬株式会社  
住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋OMビル  
担当部門: 環境安全・品質保証部  
TEL. 050-3490-3494  
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp緊急連絡電話番号: (平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)  
(休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬(殺菌剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 520-54(M17-43)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康有害性	急性毒性(経皮: 粉じん、ミスト)	区分4
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肺; 吸入)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	吸入すると有害 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期又は反復ばく露による臓器(肺; 吸入)の障害のおそれ 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 【安全対策】

- 粉じんの吸入を避けること。
- 屋外または換気の良い場所で使用すること。

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 必要な時以外は環境への放出をさけること。

【応急措置】

- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 気分が悪いといは、医師の診察／手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。
- 漏出物を回収すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性: 特に無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

有効成分化学名(一般名):

ジメチル [1, 2-フェニレンビス(イミノカルボノチオイル)] ビス [カーバメート]  
(一般名 チオファネートメチル)

成分及び含有量:

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
チオファネートメチル	70.0%	23564-05-8	4-(13)-80	—
〈その他〉				
乾燥ケイソウ土	20.0%	61790-53-2	既存物質	—
乾燥ケイソウ土の含有量: 20.0% (結晶性シリカ 0.1%以上含有、酸化アルミニウム 1%含有)				
含水非晶質二酸化ケイ素	4.14%	112926-00-8	既存物質	(1)-548
α-ヘキサデシル-ω-ヒドロキシポリ (オキシエチレン)	1.44%	9004-95-9	既存物質	7-97
界面活性剤、鉱物性微粉等	4.42%	企業秘密	天然物 または 既存化学物質	天然物 または 既存化学物質

4. 応急措置

応急処置

吸入した場合: 空気新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣服、靴を直ちに脱ぐこと。多量の水と石けんで洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口の中を水で洗い、速やかに医師の手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤： 霧状の水、粉末消火剤・炭酸ガス消火剤・泡消火剤

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災危険性： 燃焼によって有毒ガスを生成する。

消火方法： 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火剤には、粉末、泡、炭酸ガス消火剤、霧状の水を用いる。消火作業は風上から行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。本製品の火災には水による消火が有効である。

消火を行う者の保護：

燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置： 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。

作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止措置」を参照の事。

風上から近づく。

眼、皮膚、衣類につけないこと。

粉塵を吸入しないこと。

十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項： 排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法： ほうき、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

二次災害の防止策： 炎や火花の禁止。発火源をすべて断つ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：

作業の際は、保護具を着用する。保護具については、「8. ばく露防止及び保護措置」参照の事。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

粉じんの発生を避ける。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。

粉塵を吸入しないこと。

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後はよく手、顔 を洗うこと。

**保管**

安全な保管条件: 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

酸化性物質や有機過酸化物など同一の場所で保管しない。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料: 情報なし。

**8. ばく露防止及び保護措置**

《ジメチル[1,2-フェニルピス(イミカホ<sup>®</sup>/チアル)]ピス[カーバメート]のデータ》

厚生労働省(管理濃度): 設定されていない

日本産業衛生学会(許容濃度): 第3種粉じん:

吸入性粉じん 2 mg/m<sup>3</sup>、総粉じん 8 mg/m<sup>3</sup> (2020 年度)

ACGIH(TWA): 設定されていない (2021 年度)

《乾燥ケイソウ土のデータ》

日本産業衛生学会(許容濃度): 第1種粉じん:

吸入性粉じん 0.5 mg/m<sup>3</sup>、総粉じん 2 mg/m<sup>3</sup> (2021 年度)

ACGIH(TWA): 10 mg/m<sup>3</sup> (2021 年度)

《含水非晶質二酸化ケイ素のデータ》

厚生労働省: 設定されていない

日本産業衛生学会(許容濃度): 第3種粉じん:

吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>、総粉じん 8 mg/m<sup>3</sup> (2020 年度)

ACGIH(TWA): 設定されていない (2021 年度)

設備対策: 屋内使用の場合、装置を密閉化し局所排気装置又は全体排気装置を設置する。

呼吸用保護具: 防じんマスク

手の保護具: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

目の保護具: ゴーグル

皮膚及び身体の保護具: 材質を特定しないが、長袖・長ズボン

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態: 固体  
 形状: 粉末  
 色: 淡褐色  
 臭い: かすかな硫黄臭  
 pH: 4~7 (農薬公定検査法)  
 融点: データなし  
 凝固点: データなし  
 沸点: データなし  
 引火点: データなし  
 自然発火点: データなし  
 分解温度: データなし  
 可燃性: データなし  
 蒸気圧: データなし  
 相対密度: データなし  
 密度: データなし  
 相対ガス密度: データなし  
 かさ密度: 0.14~0.28 g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度: 溶けないが、水和性良好(水)  
 n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow): データなし  
 爆発限界 (vol %): データなし

爆発下限界: 225 g/m<sup>3</sup> 粉じん爆発性  
 粘性率: データなし  
 動粘性率: データなし  
 粒子特性: 粒子サイズ: ≤ 10 μm

## 10. 安定性及び反応性

反応性: 情報なし。  
 化学的安定性: 通常の取扱いでは安定である。  
 危険有害反応可能性: 危険な重合反応は、起こらない。  
 避けるべき条件: 直射日光。熱。高温。  
 混触危険物質: 酸化性物質・有機過酸化物と同一の場所に置かない。  
 危険有害な分解生成物: 窒素酸化物(NO<sub>x</sub>) および硫黄酸化物。一酸化炭素。芳香族炭化水素。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口): 区分に該当しない  
 ラット LD<sub>50</sub> 値(mg/kg) ♀ > 2000

急性毒性(経皮): 区分に該当しない  
 ラット LD<sub>50</sub> 値(mg/kg) ♂, ♀ > 2000

急性毒性(吸入): 吸入すると有害  
 急性毒性(吸入: 粉末): 下記データから区分4とした  
 《ジメチル[1,2-フェニルビス(イミノカルボノイル)]ビス[カーバメート]のデータ》  
 ラット LC<sub>50</sub> 値(mg/L/4h) ♂ 1.7, ♀ 1.9

皮膚腐食性/皮膚刺激性:  
 ウサギ 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:  
 ウサギ 刺激性なし

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: モルモット 陰性(Buehler 法)

生殖細胞変異原性: 遺伝疾患の恐れのない  
 区分2のチオファネートメチルを1.0%以上含有するため  
 区分2とした。  
 《ジメチル[1,2-フェニルビス(イミノカルボノイル)]ビス[カーバメート]のデータ》  
 Ames 試験: 陰性  
 染色体異常試験: 陰性  
 小核試験: 陽性  
 UDS 試験: 陰性  
 Rec-Assay 試験: 陰性  
 その他の変異原性試験: 陰性

発がん性試験: 発がんのおそれ  
 区分1Aの結晶性シリカを0.1%以上含有するため、区分1Aとした。  
 《ジメチル[1,2-フェニルビス(イミノカルボノイル)]ビス[カーバメート]のデータ》  
 マウス: 陰性  
 ラット: 陰性  
 《乾燥ケイソウ土のデータ》  
 IARC グループ: 分類できない

生殖毒性: 分類できない  
 《ジメチル[1,2-フェニルビス(イミノカルボノイル)]ビス[カーバメート]のデータ》  
 催奇形性試験: ラット 陰性  
 ウサギ 陰性

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

《ジメチル[1,2-フェニルピス(イミノカルボノイル)]ピス[カーバメート]のデータ》

マウス NOAEL (mg/kg/day) ♂ 98.6, ♀ 28.7 (1.5年)

ラット NOAEL (mg/kg/day) ♂ 8.8, ♀ 10.2 (2年)

誤えん有害性: 分類できない

## 1 2. 環境影響情報

総合的な環境影響情報: 有効成分のチオファネートメチルは、生分解性は、よくないが、土中での分解性は、良好。濃縮性のデータはないが、Log Po/w が低いことから濃縮性は低いと考えられる。水生生物に毒性があるので、環境への放出は避ける。

水生環境有害性 短期(急性): 水生生物に毒性

下記データにより区分2とした

水生環境有害性 長期(慢性): 長期継続的影響によって水生生物に毒性

生態毒性: 急性魚毒性(コイ) LC<sub>50</sub> 値/96hr 6.0 mg/L

ミジンコ遊泳阻害毒性 EC<sub>50</sub> 値/48hr 4.7 mg/L

藻類生長阻害毒性 ErC<sub>50</sub> 値/72hr 9.3 mg/L

残留性・分解性: 製剤のデータ無し。

生体蓄積性: 製剤のデータ無し。

《ジメチル[1,2-フェニルピス(イミノカルボノイル)]ピス[カーバメート]のデータ》

n-オクタノール/水分配係数 (LogPow): 1.44

土壌中への移動性: 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性: 分類できない

オゾン層への影響: モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。

その他の有害な影響: 追加情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。  
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物  
処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装: 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

海上規制情報: IMOの規定に従う。

航空規制情報: ICAO/IATAの規定に従う。

国連番号: 3077

正式輸送品名: 環境有害物質(固体)

海洋汚染物質: 非該当

国連分類: 9

容器等級: III

海洋汚染物質: 適用される

### 国内規制

海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報: 航空法の規定に従う。

